



創刊
昭和42年10月10日
第147号
平成29年2月20日
能代市教育委員会
学校教育課
題字 元能代市教育長
鎌田 宏

巻頭言



引き継いで いきたいこと

ニツ井中学校長
工藤 行男

昨年十一月、本校ではPTA研修の一環として「ニツ井ふるさとフォーラム」を開催しました。内容は全校合唱と各学年の総合的な学習の時間での学習の発表、「ふるさとに生きる」をテーマとしたゲストの方による話し合いでした。各学年代表の発表では、一・二年生が能代やニツ井地域での職場体験等を通して学んだこと、三年生は新しく整備される「道の駅・川の駅」の利活用のアイデアを発表しました。また、ニツ井出身のゲストの方が自身のこれまでの歩みを振り返りその根底にある考えを率直に述べるとともに、仕事を通して地域に貢献しようとする固い決意やふるさとへの深い思い、そして力強くニツ井中生へのメッセージを語ってくれました。生徒の感想や質問から、ゲストの方の夢に向かって挑戦する姿勢に共感したりふるさとや進路について考えを深めた様子が伺えましたし、ゲストの方の生徒への問い返しなど双方向のやりとりの場面もありました。

また、保護者の感想の中で「昨日までと、(フォーラムに参加した)今日とでは何か違いましたか。」という問いかけには、生徒のみならず本校の教職員も新鮮味を覚えたようです。

さて、中央教育審議会答申が出され、今年度中には次期学習指導要領が告示される予定です。答申では「時代の変化という『流行』の中で未来を切り拓いていくための力の基

読むことの風景



～中学生による読み聞かせ～
常盤小学校

盤は、学校教育における「不易」たるものの中で育まれる」と述べられています。今後は、学習に「アクティブ・ラーニング」の視点を生かしていくことはもちろんですが、地域とのつながりなど、これまで各校で大切に取り組んできたことも引き継いでいきたいものです。

輝きの一場面 向能代小学校



大漁旗が舞う
創立140周年記念大運動会

小規模校ならではの活動 「全校親子活動・親子レク」 竹生小 教頭 千羽 正人

八月の最終日曜、全校親子活動として、「陶芸教室」を行いました。ほとんどの児童は初めての経験でしたが、親子で相談したり協力したりして思い思いの個性的な作品を作る事ができました。陶芸で作った作品は、学習発表会で展示し、大変好評でした。その後、全校親子レクで流し素麺を行いました。計画や準備は大変な面もありましたが、PTAの方々が率先して行ってくれました。子どもも保護者も職員も一緒に流し素麺を満喫し、楽しい時間を過ごしました。小規模校ならではの活動を行うことができました。

